教員年間活動計画ならびに報告　　【令和6年度】

氏名	清長　友和	所属	材料システム工学科	職位	准教授

職務	項目例	割合【%】		活動内容
教育	授業担当 卒業研究 専攻科研究 授業改善 教材開発 教科書執筆 など	計画	20	1. 前期に本科専門 3科目、後期 に本科3科目と専攻科2科目の授業を行う。また前期に学生実験1科目を担当する。 ※担当科目:①材料化学1(通年、本科3年)、②物理化学1(通年、本科3年)、③工業英語(前期、本科4年)、④触媒材料化学(後期、専攻科1年)、⑤応用情報処理演習(後期、専攻科1年)、⑥材料システム実験3(前期、本科4年)、⑦材料システム工学入門(後期、本科1年) 2. 卒論生 5名、専攻科生 2名の研究指導を行う。 3. 予習時に資料を作成させ、提出させることで予習を習慣化させる。
		実績		
研究	自主研究 外部資金研究(科研費ほか) 共同研究 技術相談 論文・解説・著書学会等発表 特許など	計画	40	1. 従来から校費で進めてきている空気酸化触媒や水素化触媒に関する研究を本科生ならびに専攻科生と共同で進める。 2. 科研費 基盤研究C により、金属触媒のシンタリング抑制と触媒機能発現の両立に向けた触媒開発の研究を進める。 3. 国内学会で高活性な金触媒の高担持量化に関する研究発表を行う。 4. 第一著者として新奇水素化触媒に関する研究成果を論文発表する。
		実績		
学生生活指導	学級担任 学生相談 課外活動指導 コンテスト指導 など	計画	15	1. 担任(材料システム工学科 5年)として学生の生活指導を行う。 2. 剣道部 代表顧問として普段の活動支援、各種大会における参加手続きならびに学生の引率等を行う。
		実績		
校務／管理運営	主事, センター長, 室長 学科長, 委員長 学級担任 主事補, センター委員, 室員 委員会委員 など	計画	20	1. 担任(材料システム工学科 5年)としてクラス運営に関わる校務を行う。 2. 厚生補導委員会の委員として各種事案への対応を行う。
		実績		
社会活動	学会での活動 公開講座 出前授業 男女共同参画 国際交流活動 学外団体活動 など	計画	5	1. 所属している公益社団法人 日本化学会、一般社団法人 表面技術協会、ナノ学会等における学術講演会の円滑な実施に努める。
		実績		

教員業務内容報告書

報告者氏名	清長 友和	所属	材料	職位	准教授	報告年度	令和5年度

分野	計画		実績		記載事項例
	エフォート	内容	エフォート	内容(計画からの変更点)	
教育	20	・担当科目:①材料化学1(2単位、本科3年)、②物理化学2(2単位、本科4年)、③工業英語(2単位、本科4年)、④触媒材料化学(2単位、専攻科1年)、⑤材料システム実験3(3単位、本科4年)、⑥材料システム工学入門(2単位、本科1年、⑦卒業研究(9単位、本科5年生)-3名担当、⑧専攻科研究基礎(5単位、専攻科物質工学1年)-2名担当。 ・教育方法改善:材料システム工学科で学ぶ材料化学(無機化学全般)の集大成として、学生実験や卒業研究で使用する最先端の分析装置(SEM、TEM、EDS、XRD、XPS、ICP等)の概要や実施例を学習するための材料化学1の教材作成。	20		担当科目名・単位数 卒業研究・専攻科研究指導学生数 教育方法改善内容
研究	20	・論文作成のための研究:1件。 ・学会発表(国内):2件。 ・共同研究:2件。 ・科研費獲得に向けた研究:1件。	15	・国際学会(World Chemistry Forum 2024, Title:Regioselective Chemisorption-induced Separate Deposition of Two Types of Metal Nanoparticles on Metal Oxide Support ・学会発表(国内):2件中止	論文 著書 総説・解説 学会等発表 特許 共同研究 技術相談 科研費 外部資金
学生生活指導	10	・剣道部顧問(九州沖縄地区国立高等専門学校 体育大会　剣道競技等での学生引率)	15	・令和5年度福岡県高等学校剣道大会南部ブロック予選会における学生の引率(みづま総合体育館,久留米市, 5/13) ・第64回 仲縄旗剣道大会　参加登録の手続きと学生の引率(久留米アリーナ, 6/18) ・第58回 全国高等専門学校体育大会(剣道競技)学生引率(8/25-8/27, 千葉県総合スポーツセンター武道館)	クラブ顧問 コンテスト指導
校務・管理運営	40	・担任(材料システム工学科 4年) ・厚生補導委員会委員 ・安全衛生委員会委員 ・教職員レクリエーション委員会委員 ・就職担当補助 ・一日体験入学補助	40		主事 その他の長 学科長 委員長 部会長 主事補等 担任 委員会委員 部会員
社会活動	10	・所属学会名: ①公益社団法人 日本化学会 ②一般社団法人 表面技術協会 ③ナノ学会 ・公開講座:中学生向け公開講座 「金属アクセサリーを作製しよう！」(代表者)	10	中学生向け　久留米高専出張公開講座「金属アクセサリーを作製しよう!」(福井高専, 国立高専機構令和5年度STEAM事業)	所属学会名 学会活動 公開講座 出前授業 男女共同参画 国際交流 学外団体活動

(注) エフォートは各職務にかける(出力×時間)の割合(%)で表示、最小単位を10%あるいは5%とし合計100%となるように記載する。

(注) フォントのサイズは10pt～12ptとし、記入欄の行の高さは記入内容に合わせて変更する。